



介護の現場から



父を早くに亡くしたために、女手ひとつで3人の子どもを気丈に育ててくれた母です。長年住んでいた家が老朽化し、阪神大震災なども経験した家でもあり、ひとりで住むのには心配な状況になりました。仕方なく、母に慣れない土地に来てもらうことにしました。話し相手もなく、私も仕事を辞める訳にいかなくて、昼間は、ほぼひとりで暮らす生活を余儀なくさせてしまいました。色々なことが悪循環となっておかしな言動、行動が見られるようになりました。認知症？精神疾患？と不安になりました。このままでは駄目だと思い精神科へ相談に行きました。経過観察で入院となりましたが、退院しても自宅では無理だと思い、そのまま老人ホームに入居させる事を決断しました。老人ホームに入居してからは、仲の良い人ができ、スタッフの手厚い関わりや介護で普段の母に戻り、紙パンツとパットの生活からも解放されました。老人ホームでの刺激が、スタッフの方々の温かい見守りや声かけが、他の入居者との関わりなどが、とても良い刺激になったのだと思います。こうした母のことを振り返り、私が関わるべき入居者や在宅の利用者、家族などの思いをしっかりと聞き取り、今の仕事に活かしていける様にしたいと考えています。
(共生の里訪問看護ステーション：T准看護師)

